

## 贈呈式 日頃の感謝の気持ちを込めて

～兵庫県赤十字有功章等贈呈式～

11月12日(火)、兵庫県公館で兵庫県赤十字有功章等贈呈式を開催し、日頃から赤十字の活動資金や奉仕活動、献血等でご協力いただいている方々や赤十字活動推進ポスターコンクールの最優秀賞と優秀賞の受賞者への表彰が行われました。

式典では、井戸支部長(兵庫県知事)の挨拶の後、壇上で32名の方々に表彰状や感謝状が授与され、壇上に上がった皆さんは、支部長としっかりと握手を交わされ笑顔で感謝状を受け取られていました。今回は、全部で499の個人、法人、団体が表彰を受けられました。

また、記念講演では、今年3月から10月までフィリピンオロラ州ディアサグ郡に派遣され保健医療事業に取り組んだ、姫路赤十字病院の津田看護師による講演がありました。現地での活動内容や、日本とフィリピンの文化の違いなどの話に、会場の皆さんは興味深く聞き取ってられました。

### 兵庫県赤十字有功章等贈呈式



井戸支部長から贈呈

## 青少年赤十字 青少年赤十字提供プログラム(11月実施校)

青少年赤十字提供プログラムは、救急法や点字の体験、災害救護活動や海外救援活動などの講演を、特別赤十字奉仕団などのご協力を得ながら、青少年赤十字加盟校で楽しく、分かりやすく、お伝えします。

生命の大切さやボランティアの心を養い、人としてのやさしさを育てるために、赤十字の提供プログラムをご利用ください。

### ●福祉教育プログラム

高砂市立松陽中学校 西脇市立西脇東中学校 明石市立花園小学校



点字器を使って点字を体験



点字の講義を受ける生徒たち

## 救急法等の講習 講習のご案内 ～健康で安全な生活を送る知識と技術を～

急病や不慮の事故から身を守り、大切な人のいのちを救うための正しい基礎知識と技術を身につけてみませんか?

日本赤十字社は、皆さまが健康で安全な生活を送るための手伝いができるよう、救急法等の普及活動に努めています。

内容	開催日
救急法基礎講習	1月11日(土) 2月1日(土)
救急法救急員養成講習(2日間)	2月15日(土)・16日(日)
救急法基礎・救急員養成講習(3日間)	1月12日(日)・13日(月)・18日(土) 2月2日(日)・8日(土)・9日(日)
幼児安全法(3日間)	1月19日(日)・25日(土)・2月1日(土)
健康生活支援講習(3日間)	2月13日(木)・20日(木)・27日(木)

◇講習会場は日本赤十字社兵庫県支部です。  
◇詳細及びその他の講習についてはホームページで。



パソコンから

<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

赤十字 兵庫

検索

# ひょうごの赤十字

2013 DECEMBER 12月

### ●海外たすけあい募金

- 兵庫県声の図書赤十字奉仕団創立50周年記念のつどい
- 阪神南ふれあいフェスティバルに出展
- 県内各地で地域赤十字奉仕団員研修会を開催
- JR姫路駅消防総合訓練に参加
- 兵庫県赤十字有功章等贈呈式
- 青少年赤十字提供プログラム(11月実施校)
- 講習のご案内



たすけあいを、忘れない。

【写真】内戦が始まってから3年目に突入したシリア。人口の半数近い900万人が人道支援を必要としている。

海外たすけあい募金 12.1▶25

～ご協力をお願いします～

「海外たすけあい」は、災害や紛争、飢餓や病気などで苦しむ人々を救うため日本赤十字社が、毎年NHKと共同で実施している募金キャンペーンです。皆さまからのご寄付は、世界の「紛争で苦しむ人々への支援」、「災害で苦しむ人々への支援」、「病気から身を守るための支援」の主に3つの分野の支援に活用いたします。東日本大震災では160以上の国・地域からたくさんの支援が寄せられました。「たすけあいを、忘れない。」今度は私たちが世界のためにできることを。皆さまからのあたたかいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

募金は次の方法で受付いたします。

### ○ご持参の場合:

日本赤十字社兵庫県支部、赤十字病院、献血ルーム、NHK神戸放送局、但馬銀行、農協及び漁協

### ○ご送金の場合:(郵便局・ゆうちょ銀行)

口座記号番号 01110-0-1136  
口座加入者名 「日本赤十字社兵庫県支部」  
※通信欄に「海外たすけあい」とご記入ください



お電話で

◇お問い合わせ先  
078-241-8921  
(兵庫県支部 振興課)

日本赤十字社 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨海海岸通1丁目4番5号  
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990  
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>



10月26日(土)、兵庫県支部で兵庫県声の図書赤十字奉仕団創立50周年の式典を開催しました。

前日までは、台風27号、28号が近畿地方に接近しており、開催が危ぶまれていましたが、当日はスッキリとした秋晴れで、来賓、団員等約160人が参加しました。

第1部の式典では大下操委員長が「団員は日々研鑽と細かい作業を重ね、図書を作っています。感性が鋭く心豊かなリスナーの存在と、団員の活動力が声の図書を支えています」と、昭和38年から活動を続けてきたこの団の現委員長としての思いを述べられました。

同奉仕団は現在、9グループ、139人の団員を抱える大きな組織として成長し、全国の約260人の視覚障がいのあるリスナーの皆さんへ、録音テープやCDを送り、情報等を発信しています。

また、神戸市や日本赤十字社本社からの祝辞。そして当支部の藤原事務局長から、永年に亘る奉仕活動に対して支部長感謝状の贈呈に続き、各グループから活動紹介がありました。

第2部は、それぞれのグループが日頃培ったチームワークで、個性溢れる出し物を披露。歌やダンス、楽器演奏に紙芝居等、「あの人が、こんなことを」と、団員同士も驚くほど。会場は、温かい空気に包まれ、記念のつどいは楽しく過ぎていきました。

これから60年、70年、100年と、声の図書の活動が変わることなく引き継がれていくことを願います。



挨拶される大下操委員長



50周年を祝して、カンパニー!

11月2日(土)、3日(日)の2日間、尼崎スポーツの森(尼崎の森中央緑地)で「阪神南ふれあいフェスティバル」が開催されました。このフェスティバルは、兵庫県主催で毎年行われており、兵庫県支部からも地域の皆さまとふれあう機会として毎年参加しています。

今年は、子ども用救護服・ナース服を着ての記念撮影、撮った写真を使った缶バッジ作り、このほか災害救護活動のパネルや救援物資の展示などを行いました。

記念撮影をする子どもたちは憧れのナース服や救護服を着ることができ嬉しそうにポーズを決めていました。また、展示コーナーでは、子どもから大人まで赤十字の活動に関心を持って見ていただくことができました。

これからも、このようなイベントを通して、赤十字を地域の皆さまの身近な存在として知っていただくためにPR活動を続けていきます。



撮った写真で缶バッジ作り



救援物資を見る親子

10月10日(木)の北播磨を皮切りに、但馬・丹波、東播磨・中播磨、西播磨、神戸・阪神・淡路の5カ所の会場で、地域赤十字奉仕団員研修会を開催。150人の団員の皆さんが参加されました。

この研修会は、県内各地域で活動されている奉仕団の皆さんに、赤十字活動のさらなる理解と、今後の活動を充実したものにするための知識等を身につけてもらうことを目的として、毎年行っています。

プログラムの内容は、青少年赤十字賛助奉仕団員である赤十字活動指導講師による「赤十字について」の講義。赤十字の歴史や組織についてのお話にも、皆さん興味深く聞き入っていました。

昼食はアルファ化米の非常食。お湯を注いで15～20分で出来上がる赤飯やピラフ、山菜おこわ等、美味しく食べていただけたようです。

午後からは応急手当の実技。日常のちょっとしたきずに対する止血や、三角巾を使った手当の方法に加え、家にある身近なものを使った手当のひとつとして、パンティストッキングでの包帯法など、ひとつひとつ感心しながら取り組まれました。

また、顔や口の筋肉を刺激することにより表情を豊かにしたり、口腔機能を向上させる「健口体操」も行い、団員の皆さんから「楽しかった」「勉強になったわ」といった声や、ご意見なども聞くことができました。



三角巾を使った傷の手当て



お昼は非常食を美味しくいただきました

11月14日(木)、JR姫路駅周辺で消防総合訓練が実施され、姫路赤十字病院から医療救護班の6名と研修医2名、支援要員の3名が参加しました。

「午前10時30分、大きな揺れを伴う地震が発生。JR姫路駅の構内では、慌てて避難しようとした乗客が将棋倒しとなって多数の負傷者がでている模様。また、近隣のビルでも地震の影響で傷病者がいる」との想定で、初めてJR駅南地域を中心とした傷病者の搬送トリアージ訓練が行われました。

医療救護班は直ちにJR南出口の中央コンコースにおいて応急救護所を開設。消防隊などと協力して負傷者の搬出を行いました。

これまでの防災訓練と異なり、実際に駅改札口前の施設を使っただけの訓練であり各関係機関との連携も図ることが出来ました。



緊迫した現場でトリアージを行う医療救護班